

協議資料 3

協議事項 3. 令和 7 年度 飛騨市公共交通会議会計予算案及び事業計画案について

令和年 7 度 飛騨市公共交通会議会計 予算書(案)

(収入)

(単位 円)

項 目	予 算 額	明 細
負 担 金	2,926,000	飛騨市公共交通運営負担金 飛騨市
諸 収 入	30,000	1日乗車券（電子）販売分、預金利息等
計	2,956,000	

(支出)

(単位 円)

項 目	予 算 額	明 細
報 償 費	268,000	会議謝礼 168,000
		公共交通アドバイザー謝礼 年間 100,000
旅 費	80,000	会議出席時交通費 80,000
需 用 費	50,000	
消 耗 品 費	40,000	事務用消耗品 40,000
食 糧 費	10,000	飲み物代 10,000
役 務 費	10,000	
手 数 料	10,000	振込手数料 10,000
委 託 費	2,321,000	
計 画 策 定	2,321,000	飛騨市公共交通計画更新作業委託 2,321,000
事 業 費	227,000	
乗 車 券 事 業	80,000	デジタル1日乗車券販売 80,000
利 用 促 進 事 業	147,000	高校1日入学無料券販売等 147,000
予 備 費	0	
計	2,956,000	

令和 7 年度 事業計画案

実施項目		施策	事業	番号	区分	実施予定時期	令和 7 年度 実施計画	進捗状況
1 地域公共交通の整備・運行		地域公共交通の運用	・地域公共交通の運用	1	新規	4 月～	バスアナウンスシステムの運用 ①かみおか循環線は継続 畦畑線、太江線は、操作性の問題から運用中止 ②物価高騰等に伴う今後の地域公共交通の運用方針案策定 1 路線あたりの運行経費が増額しており、今後の見通しも立たないことから、運行経費の多い路線を中心に今後の運用方針を協議	①新年度利用契約完了 ②神岡猪谷線の見直し 乗降調査を実施（4月12日～18日） ※後述
		その他の移動手段の支援	・地域公共交通網を補完する移動手段の創出及び維持に対する支援	2	継続	4 月～	①ドライバー確保に向けた取組 飛騨市ドライバーズバンクシステム（仮称）実現に向けた方針を定めたうえで、交通事業者への派遣（出向）の仕組みの構築、受け皿組織（特定地域づくり事業協同組合制度の活用、一般社団法人）の設立準備	①地域プロジェクトマネージャーとの協議（4月17日）
		公共交通計画の更新	・現行の飛騨市公共交通計画（令和3年4月～令和8年3月）の計画期間終了に伴う更新	3	新規	3 月	次期公共交通計画の策定 ①令和8年4月～令和13年3月までの5か年計画の策定	①委託事業者であるソーシャルアーツコンサルティングとの打ち合わせを実施（5月20日）
2 利便性の向上		交通結節点の整備・維持	・利用環境の利便性向上 待合所・ベンチなどの設置 バス停の更新 等	4	継続	3 月	交通拠点整備に向けた取組 ①スカイドームターミナルに向け関係者協議のうえ基本設計を行う ②飛騨市民病院、飛騨市役所内のデジタルサイネージにてバス時刻案内を整備	①神岡振興事務所との調整 ②デジタルサイネージ納品（3月26日） ※未設置
		企画乗車券の発行	・ひだまる定期券、1日乗車券、シルバーフリー定期券、回数券等の運用	5	継続	3 月	各機関と連携した企画チケットの導入 ①デジタル定期券運用開始	①株式会社RYDEとの打ち合わせ（4月10日） 名古屋鉄道との打ち合わせ（5月19日）
		車両の更新と整備	・利便性を高める車両の導入	6	新規	3 月	①車両更新 かみおかぐるりんバス車両、河合宮川乗合タクシー車両の更新	①かみおかぐるりんバス：フィーダー補助対象 ※後述 河合宮川乗合タクシー：今年度市予算に計上
			・ラッピング等のデザイン	7	新規	3 月	①バスラッピングデザイン案の作成 市内高校生、デザイナーとの協議を進める	①バスキャラクター決定、マグネットによる試作版を運用
		地域公共交通の基本的な情報提供	・バス停や待合等におけるわかりやすい案内掲示	8	継続	4 月～	バスロケーションシステムの運用 ①神岡ぐるりんバスでの運用 ②幹線導入に向けた協議	①新年度利用契約完了 ②高山市との協議を継続
			・総合地域公共交通マップの発行	9	継続	9 月	ダイヤ改正に合わせて時刻表を更新 ①時刻表を各世帯に配布、公共施設等に設置し、情報発信の拡充を図る。	①10月ダイヤ改正に合わせた路線図・時刻表更新の準備 ソーシャルアーツコンサルティングとの打ち合わせ（5月20日）
			・地域、属性などの対象者ごとの時刻表発行	10	継続	9 月		
			・市のHP・広報等による情報発信	11	継続	随時	わかりやすい情報発信 ①HPの更新、閲覧状況の分析	①市営バスに関する情報を随時更新
	3 利用促進	日中利用の促進	・市の広報、集会等での説明による、地域公共交通の必要性についての意識啓発	12	継続	4 月～	市職員ノーマイカーデーの継続、効果分析 ①ノーマイカーデーを継続し、地元企業参加の推進を実施	①市職員対象ノーマイカーデーを継続実施
			・市民と協働したイベントの開催（市民バスツアー、セミナー等）	13	継続	随時	市内イベントへの出展	出展イベントの選定
			・免許返納者へのインセンティブの付与	14	継続	4 月～	免許返納者への支援策の導入	いきいき券事業を継続実施
		利用している市民に対する利用促進	・目的地施設と連携した企画チケット等の検討	15	継続	3 月	電子チケットの拡充 ①観光施設と連携した新たな企画チケットの導入準備	①連携事業者、施設の選定

実施項目	施策		事業	番号	区分	実施予定時期	令和7年度 実施計画	進捗状況
3 利用促進	日中利用の促進	利用している市民に対する利用促進	・市民と協働した利用促進の検討	16	新規	6月	バスラッピングデザイン案の作成 ①市内高校生、デザイナーとの協議を進める	①バスキャラクター決定、マグネットによる試作版を運用
	通学利用の促進		・中高生とその保護者に対する説明会の実施	17	新規	10月	市内中高生への意識啓発、利用促進 ①飛騨神岡高校とのワークショップ実施 ②高校1日入学無料券配布継続 ③地域クラブ活動参加生徒向けの移動案内の作成	①飛騨神岡高校との調整 ②高校1日入学（10月実施予定）に向けた準備 ③部活動毎の活動時間、場所を調整
3 利用促進	来訪者に対する地域公共交通情報の提供	初めての人も利用できる情報提供	・系統番号・路線番号・カラーリングの導入	18	新規	9月	バス停標柱のリニューアル ①市内高校生、デザイナーとのトータルデザイン協議の実施	①バスキャラクター決定
		観光客向けの情報提供	・案内等の多言語化促進	19	継続	9月	外国人向けのバス情報提供 ①外国語版時刻表の作成	①10月ダイヤ改正に合わせて作成
			・観光客が利用しやすい停留所への改良（名称、設置場所等）	20	継続	3月	観光施設へアクセスしやすい環境整備 ①デジタルサイネージを活用した情報発信	①飛騨古川駅バス待合所に設置されるデジタルサイネージの活用
			・観光客向け時刻表・パンフレットの制作	21	継続	3月	公共交通を移動手段とした観光モデルコースの策定 ①観光HPに掲載	①モデルコースの拡充
	市民・事業者等の自主的な取り組みの支援		・市民や事業者等が主導して行う地域主導型利用促進事業の支援	22	新規	9月	福祉部局と連携した高齢者向け公共交通ツアーの開催 ①バスの乗り方教室を兼ねたバスツアーの実施	①福祉部局との連携
4 評価・改善	地域公共交通における評価・検証の実施		・評価・検証事業（乗降調査・利用者アンケート等）	23	継続	随時	利用調査の継続実施	神岡猪谷線の乗降調査を実施（4月12日～18日）
			・市民アンケート調査 運行状況等の点検 等	24	継続	随時		
	継続的な市民参加の仕組みづくり		・住民意見交換会による運行改善に関する協議等	25	新規	随時	意見交換会の実施 ①意見交換会未実施地区での開催 ②介護事業者、障がい者雇用事業者との意見交換会の実施 送迎ドライバー不足の現状、具体的な対策を検討	①古川町高野区との意見交換会を実施予定（6月13日） 同上気多区との意見交換会を実施予定（日程未定） ②福祉部局との連携
			・利用実績の地域へのフィードバック	26	継続	随時	公共交通会議の結果をHPで公開する	継続実施
	先進的な手法や技術の導入検討		・先進技術に関する情報の収集	27	継続	随時	公共交通セミナーへの参加 ①日本モビリティマネジメント会議（JCOMM）参加 ②バスマップサミット参加	①令和7年度は札幌市で開催（9月12日～13日） ②令和7年度は愛媛県八幡浜市で開催（6月28日～29日）
			・他自治体の好事例の研究	28	継続	随時	他自治体の公共交通会議の視察	実施済み 静岡県吉田町（5月22日）、愛知県東浦町（5月23日）

●令和7年度 路線見直し重点路線

路線名	見直し時期（目標）	見 直 し 方 針
①神岡猪谷線	令和7年10月	①神岡猪谷線の段階的な縮小を行う。 ②利用のないバス停を廃止し、路線の効率化を図る。 ③路線バスの利用者を調査し、乗合タクシーへの移行が可能か検討する。
②畦畑線		
③宮川線、稲越線		